

～豊かな海づくりに向け～

令和6年度積極予算案 大分県

大会契機に・戦略栽培漁業を推進
・県産魚の流通を拡大

大分県は13日、令和6年度の一般会計当初予算案を発表した。誰もが「安心」して「元気」に活躍できる大分県、知恵と努力が報われ「未来を創造」できる大分県の実現に向け、人口減少対策の強化や産業の振興を進めるとともに、未来へつなげる投資を促進している。



JF大分

水産おおいた

発行元 大分県漁協

<http://www.jf-ota.or.jp/>



(単位:千円)

コロナ対策関連予算の影響で過去3年間の当初予算は総額7千億円を超えていたが、6年度は前年度の7月補正後予算額に対し4.8%減の6898億円となった。

「みんなで実現する元気な農林水産業」には昨対3%減の511億72百万円が計上された。主な水産関係事業は表のとおり。

11月10日に開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」おんせん県おおいた大会」及び関連行事に要する経費として5億円余り、大会を契機に県産水産物の流通拡大を図るため、魚食普及に向けた学校給食での県産水産物の利用促進や県内量販店での県産水産物消費拡大キャンペーンの実施などに3千2百万円余りが計上されている。また、効果的な資源造成による水産資源の回復を図るため、広域で取り組む新たな海域戦略魚種増殖モデル構築事業として3千7百万円余りが計上された。この他、養殖ブリの周年供給体制を目指し4～6月の端境期出荷に向けた人工種苗の安定供給体制を整備するため、出荷時期を調整できる人工種苗の外部技術移転や現地実証などを行う特別枠として「養殖ブリ周年供給体制構築事業」なども上程される。

令和6年度 一般会計当初予算案 (水産関係)

事業名	6年度当初予算案 (5年度7月補正後 予算額)	事業概要	所管課
The・おおいたブランド 流通販売戦略推進 事業	24,559 (20,140)	県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓に取り組む。 【特】大阪・関西万博開催を見据えた県産品商談会の開催 など	おおいた ブランド 推進課
全国豊かな海づくり 大会開催事業	507,305 (58,711)	水産資源の保護や、海や河川環境保全の大切さを国民に訴えとともに漁業の振興と発展を図るため、第43回全国豊かな海づくり大会及び関連行事を開催する。 ・期間 令和6年11月9日(土)～10日(日) ・会場 iichiko総合文化センター、別府港第4埠頭など ・内容 式典行事、海上歓迎・放流行事など	全国豊かな 海づくり 大会推進室
海域戦略魚種増殖 モデル構築事業	37,933 (22,882)	効果的な資源造成による水産資源の回復を図るため、広域で取り組む新たな増殖モデルの構築を行う。 【特】環境整備を行った放流適地での集中的な種苗放流の実施 など	水産振興課
【特】 養殖ブリ周年供給体 制構築事業	66,649 (0)	養殖ブリの周年供給体制を構築するため、4～6月の端境期出荷に向けた人工種苗の安定供給体制を整備する。 ・出荷時期を調整できる人工種苗の外部技術移転や現地実証 など	水産振興課
県産水産物流通拡大 推進事業	32,165 (12,796)	第43回全国豊かな海づくり大会を契機とした県産水産物の流通拡大を図るため、販促活動等により需要を取り込むための取組を支援する。 【特】魚食普及に向けた学校給食での県産水産物の利用促進 【特】県内量販店での県産水産物消費拡大キャンペーンの実施 など	漁業管理課
【新】 漁業取締船代船建造 事業	8,000 (0)	漁業秩序の維持と漁業関係法令違反の抑止を図るため、漁業取締船「あさかぜ」の代船建造を行う。 ・基本設計の実施	漁業管理課

2 面

韓国出荷試験



3 面

海区漁調委

瀬戸内サワラ
漁業者協議会

4 面

水研だより



5 面

水産研究
タイムリー情報

人権ポスター

6 面

効果を発揮！
シェルナース



7 面

2/1 辞令交付

募金のお願い

おさかな
チャンネル

韓国出荷試験・流通調査 養ブリ活魚

県産養ブリの海外への販路拡大の一環として韓国輸出の可能性を
検討するため、1月31日～2月2日に活魚出荷試験及び流通状況
調査等を行った。

参加者は、県から漁業管理課の
大屋課長、片野主幹、ブランド推
進課の三吉主幹、県漁協から高
橋部長、永井課長、橋本課長、伊
東水産の伊藤社長にも同行をい
ただいた。

今回の活魚の流通経路は、大分
を活魚車で発ち、下関～釜山の
フェリーを使用、釜山から陸送で
統営の活魚専門問屋へ。検疫検査
終了後にソウル、仁川、釜山等に
配送した。



J Dトレーディングの活魚水槽（統営）



チャガルチ市場内の活魚販売店（釜山）



統営の活魚専門問屋J Dトレー
ディング(株)及び釜山のチャガルチ
市場内の活魚販売店で聞き取り
調査を行った結果は以下のとお
り。
・韓国での養ブリの販売は活魚が
主体
・高級魚として単価が取れるのは
6 kgサイズ以上の活魚
・現時点でフィレなどの加工品の
販路として韓国は不向きであり
台湾、タイ等への転換が現実的

今年もやります！
ぜひご参加ください

2024年

関あじ 関さば まつり

令和6年 3月9日(土) 雨天決行 時間 / 9:00～14:00

会場 / 大分県漁協佐賀関支店 荷捌施設周辺 (関あじ関さば直売所)
※消毒液を設置しております。

味のコーナー (大分県漁協佐賀関支店 荷捌施設周辺)
「食券販売開始」9時から500食限定！
食事開始 10:00～14:00

- ・関もの刺身定食(500食限定) 1,500円(税込)
(関あじ、関さば、関あじ刺身、フライドかつお、かつおの汁付)
- ・関もの寿司 8貫盛りセット(100食限定) 1,200円(税込)
(関あじ、関さば、関あじ、関さばの汁付)

開会行事 (大分県漁協佐賀関支店 荷捌施設周辺)

- 9:40～ 主催者挨拶・来賓挨拶・来賓紹介
- 9:45～ 関の関あじ祭り披露(佐賀関文化協会)
- 10:00～ 食事開始

特産品販売コーナー (各団体・商店)

- 9:00～14:00 関、関の野菜、大分県産、食料品、お菓子、お土産、お弁当、お惣菜、お漬物、お米、お茶、お酒、お菓子、お土産、お弁当、お惣菜、お漬物、お米、お茶、お酒、お菓子、お土産、お弁当、お惣菜、お漬物、お米、お茶、お酒

JF佐賀関支店販売

- 10:30～ 関もの刺身定食・関あじの販売
- 10:30～ 関さばの海鮮バーベキュー

終了 14:00予定

- ◆主催 / NPO法人さかのせままつり協議会
- ◆主管 / 大分県漁協佐賀関支店・関あじ関さばまつり実行委員会
- ◆後援 / 大分市・大分県・大分合同新聞社・OBS大分放送

全日本水産博覧会 豊かみ海大い食
令和6年11月10日(日)開催

シーフードショー大阪 Seafood Show Osaka

日時 2024.2.21 Wed 10:00 - 17:00 ▶ 2.22 Thu 10:00 - 16:00
会場 ATCホール(アジア太平洋トレードセンター内)



21、22日の両日、大阪市のアジア太平洋トレードセンターATC
ホールにおいて大日本水産会主催の第21回シーフードショー大阪
が開催された。当漁協もかぼす養魚(ブリ、ヒラメ、ヒラマサ、フグ
)、杵築ん鰯の商談・PR、かぼすブリの試食を行った。
商談では、輸出関係や冷凍出荷、切り身やロイン加工での出荷
等の可否についての問い合わせが多く見られた。
試食した方からは「美味しい、臭みがなくて食べやすい」、「ほの
かに柑橘系の香りがする、おもしろい」、「以前食べた時よりも香りが
する」等の感想をいただいた。また、「よく見かける」や「有名です
よね」などの声もあった。
今後は、興味を示してくれた小売業、商社・卸売業、外食業など
の業者との商談を進めていきたい。

委員会指示 大分海区漁調委 第23回委員会 発出を決定

- 豊後水道におけるたる流し漁業の禁止
- 伊予灘及び豊後水道における全長13cm以下のくるまえびの採捕禁止
- あわび類、うに類の種苗放流場所での禁漁

9日、県水産会館5階研修室において、第22期大分海区漁業調整委員会第23回委員会が開催された。

第1号議案「豊後水道におけるたる流し漁業（立縄釣漁業）の禁止について」では、円満な漁場利用を確保するため、引き続き令和6年4月1日から令和7年3月31日まで、全面禁止とする委員会指示を発出することに決した。

第2号議案「伊予灘及び豊後水道におけるくるまえびの採捕の禁止について」では、減少が続くくるまえび資源の早急な回復を図るため、引き続き令和6年4月1日から令和7年3月31日まで、全長13cm以下の採捕を禁止とする委員会指示を発出することに決した。

第3号議案「あわび類、うに類の採捕の禁止について」では、減少傾向にあるあわび類及びうに類資源の回復を図るため、種苗放流を行った場所を2年間禁漁とする資源管理措置を実践するための公的担保措置として、令和6年4月1日から令和8年3月31日まで放流場所における採捕を禁止とする委員会指示を発出することに決した。

第4号議案「知事許可漁業の制限措置及び申請期間並びに許可の有効期間について」では、漁業者からの要望に伴い公示する予定の「小型機船底びき網漁業手繰第2種自家用餌料びき網漁業」及び「さわら流し刺し網漁業」の制限措置及び申請期間並びに許可の有効期間を同種の許可と合わせ短縮することについて知事から意見を聴かれたもので、異議のない旨回答することに決した。

第5号議案「漁業権一斉切替えに伴う区画漁業（真珠養殖業）の免許について」では、8月18日開催の第20回委員会において海区漁場計画を承認し、9月26日に公示された区画漁業（真珠養殖業）に16件の免許申請があつたため、申請者の適格性について知事から意見を聴かれたもので、異議のない旨回答することに決した。

第6号議案「大分県資源管理方針の一部改正について」では、県漁協各支店の「資源管理計画」に記載されている非TAC魚種の具体的措置を内容とする資源管理協定を締結するため、県資源管理方針に非TAC魚種を追加し、魚種ごとに資源管理の方向性（資源管理目標）を設定すること。対象魚種は資源管理計画に記載の15魚種（さわら、ひらめ、まだい、いさぎ、たちうお、はも、かさこ、まこがれい、くるまえび、がさみ、うに類、あわび類、なまこ類、あじ類、いわし類）とすること。対して知事から意見を聴かれたもので、異議のない旨回答することに決した。

第7号議案「大分海区漁業調整委員会規程の一部改正について」及び第8号議案「大分海区漁業調整委員会が管理する公文書の公開等に関する規程の一部改正について」では、令和4年11月にデジタル庁が「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」を策定し、全国の都道府県、市町村に対し、アナログ規制の見直しを呼びかけたことから、大分県では条例、規則、要綱等におけるアナログ規制の見直しに取り組むこととなり、これに伴い今回大分海区漁業調整委員会規程及び大分海区漁業調整委員会が管理する公文書の公開等に関する規程の一部を改正することについて報告があつた。

漁業者協議会を開催

サワラ瀬戸内海系群

2月19日、神戸市において令和5年度第2回サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会が開催された。本県委員は、漁業者代表として日出地区漁業運営委員の北野和貴氏、漁協代表として永井漁政課長が出席した。

議事では、前年秋漁の操業状況及び広域資源管理の実施状況が報告された。

次いで行われた資源評価では、漁業者の協力もあり平成11年以降漁獲量は増加傾向にあり、令和4年度は2600トと前年

(2800ト)と同程度であつたことが報告された。また、年齢組成、年齢別資源量とC/PUE、加齢と親魚量の推移及び再生産関係の説明を踏まえ、管理基準値と禁漁水準の案が示され、6年度の資源管理措置は現行のとおりにすることに合意した。

7年度以降の資源管理措置については、資源管理方針に関する検討会等の議論や最新の資源評価を踏まえ検討することとした。協議の場に遊漁者を参加させることとの是非等が議論された。



現行の資源管理措置を継続へ

目標管理基準値案	限界管理基準値案	禁漁水準案
12,900トン	5,700トン	900トン
MSYを実現する親魚量(SBmsy)	MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量	MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量
2022年の親魚量	MSY	2021年の漁獲量
5,400トン	5,600トン	2,600トン
-	最大維持生産量	-

水 研 だ よ り

大分県周防灘南部海域における栄養塩の推移

北部水産グループ養殖環境チーム 岡田理

本県ではアサリ漁業やノリ養殖が盛んに行われていましたが、近年は生産量が大きく減少しています。その原因の1つとして、栄養塩(主に窒素とリン)の不足が考えられます。栄養塩は、アサリの餌となる植物プランクトンの増殖やノリの生長、光合成に必要不可欠です。そこで本県周防灘海域における栄養塩の変動を把握するために、当グループの浅海定線調査で得られた50年分(1973年4月～2023年3月)のデータのうち、海中の栄養塩量の指標である溶存無機態窒素(DIN)と溶存無機態リン(DIP)を対象に解析を行いました。なお、使用したデータの採水海域はアサリ、ノリ漁場より沖合の水深10～14mとなります。

解析では、アサリとノリの漁場環境に着目しました。現在、周防灘のアサリの再生産は秋発生群に依存しているとされていることも踏まえ、養殖ノリの生産が行われる10～3月の沿岸域(水深15mより浅く、陸に近い6定点)のデータを対象に解析を行いました。その結果、DINは減少、DIPは上昇傾向にありました。次に、アサリやノリにとって十分な濃度の栄養塩が存在しているかについて調べました。ただし、アサリの餌となる植物プランクトンが増えるためにはDINとDIPの量だけでなく、そのバランスも重要で、最適な濃度比は16:1、すなわち、N/P比=16とされています(田口, 2016)。N/P比が16未満の場合はDINが不足、16を上回る場合はDIPが不足と判定されます。図1に示したとおり、近年における沿岸域のN/P比は16を大きく下回っており、DIN不足と言えます。ノリについては、水産用水基準にノリ養殖に最低限必要な栄養塩濃度として、DINは5.0～7.0 μM、DIPは0.23～0.45 μMと記載されています。図2、3に示したとおり、DIN、DIPともに近年は下回って推移しており、十分な栄養塩が存在していないことがわかりました。さらに、DINの推移をアサリおよびノリの生産量と比較してみました(図4、5)。すると、同様の減少傾向を示しているように見えます。つまり、DINの減少が生産量減少の要因の1つであることが考えられます。

以上のように、周防灘南部海域は貧栄養状態にあります。特に、DINはノリ養殖に最低限必要な5.0 μMを大きく下回り、N/P比の低下もDINの低下が原因であることから、DINを増やすことが漁場基礎生産力の回復に繋がると考えられます。これから、豊前海を「豊かな海」に復活させるには、栄養塩類の供給方法の検討および供給量の増加を目指す必要があります。



宇佐市和間の海床路(編集者が添付)

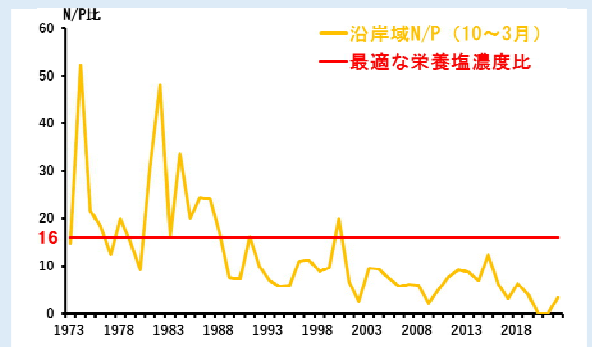


図1 沿岸域におけるN/P比の推移

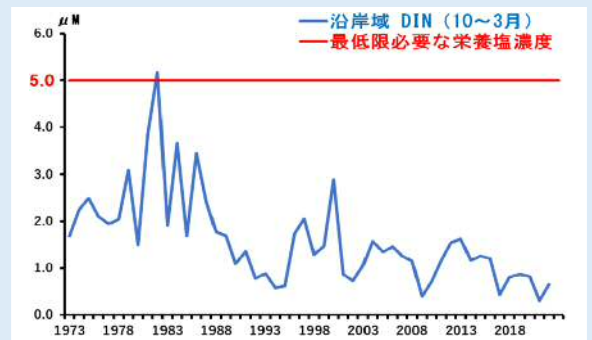


図2 沿岸域におけるDINの推移

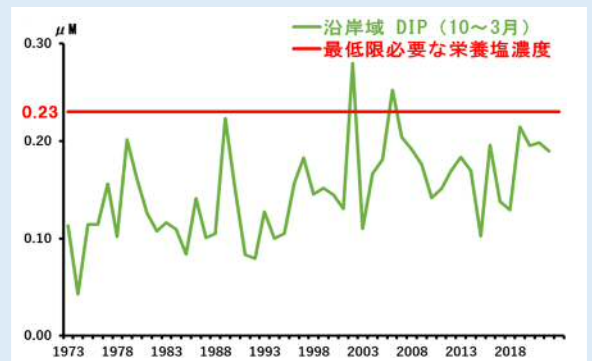


図3 沿岸域におけるDIPの推移

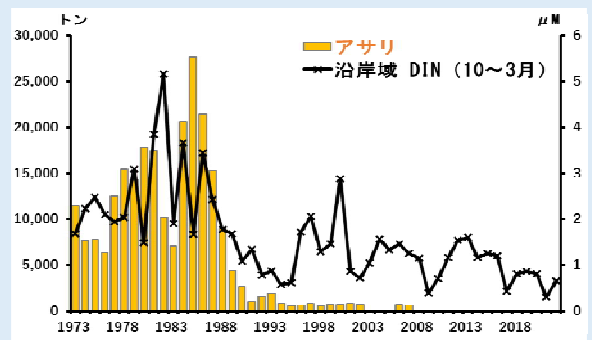


図4 アサリ漁獲量と沿岸域DINの比較

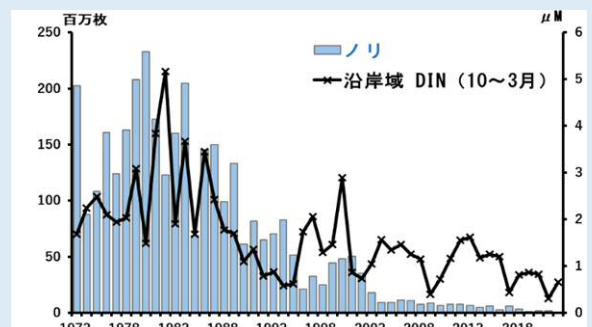


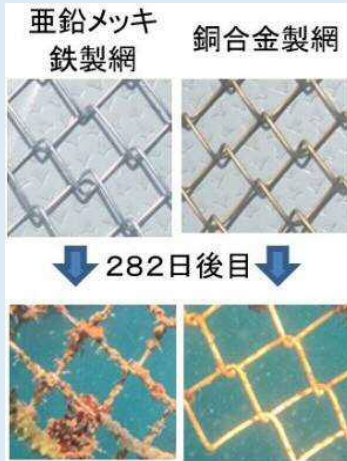
図5 ノリ生産量と沿岸域DINの比較

水産研究タイムリー情報

生簀網の汚れを少なくする改良試験に着手！

2024年1月31日 水産研究部

当研究部では、養殖ブリの健全な成育と環境負荷軽減に資するため、昨年度から生簀網の汚れを最小限に抑える改良試験に着手しています。今回、銅合金製網と従来の亜鉛メッキ鉄製網で水生生物の付着状況を比較したところ、海中垂下282日経過時で、銅合金製網にはほとんど付着はみられませんでしたが、今後は耐久性や経済性について検証します。



研究発表会を開催しました

2024年2月9日 水産研究部

当部では水産関係研究者(水産研究部研究員、漁業公社職員、県振興局水産業普及指導員等)の相互理解と資質向上を図るため、昭和45年から研究発表会を毎年行っています。今年度は2月2日に大分市で開催しました。合計12課題の研究発表がなされ、熱心な質疑や討論が行われました。



養殖生簀への波の影響を調査中

2024年2月9日 水産研究部

養殖生簀に対する波浪の影響を調査するため、養殖会社(佐伯市)の養殖生簀に流速・水圧のセンサーを設置しました。今後、波浪によって、どの程度養殖生簀が変形しているか等について、生簀を浮かべた状態と10m沈めた状態で比較検証します。



姫島における人工種苗クロメを用いた

藻場造成試験 2024年2月20日 北部水産グループ

当グループの指導の下、大分県漁協姫島支店潜水組合は、当グループが生産したクロメ種苗(1万本)を括着させた建材ブロック100個を海底に設置する大規模な藻場造成を2月1日に行いました。なお、2月7日にはクロメ種苗(200本)が括着した木片をボルトで固定したコンクリート製魚礁も海底に設置しました。今後、藻場回復の一助となるのが期待されます。



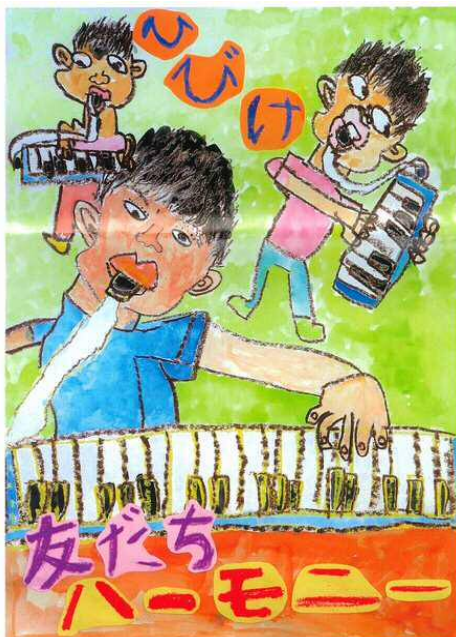
食害防除カゴで囲ったクロメ種苗(建材ブロック)



コンクリート製魚礁に固定したクロメ種苗

〇水産研究タイムリー情報は、大分県のホームページ掲載分から作成しました。

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/timelyjyouhou2017-3.html>



大分市立春日町小学校2年 江藤一翔さんの作品です

県生活環境部人権尊重・部落差別解消推進課長から、本年度の最優秀作品ポスターをいただきました。



別府市立境川小学校6年 金城芽紗さんの作品です

令和5年度
人権ポスター最優秀作品

効果を発揮する！ JFシェルナース・貝藻くん

JFシェルナース効果調査 報告



YouTube



【シェルナース2.2型】

- ・工事名：R3水振第一号 水産環境整備工事
- ・事業主体：大分県

【調査DATA】

- ・調査日 : 2023年11月24日
- ・場所 : 大分県豊後高田市香々地地先
- ・水深 : 10m
- ・調査対象 : シェルナース2.2型 (沈設1年3カ月経過)

◎主な調査結果

- ・ 大小様々なサイズのキジハタが礁内部の空間や貝殻基質上で定位していた。小型の個体はダイバーが近づくと貝殻基質内に隠れた。
- ・ イシダイは礁内部や周囲を遊泳していた。
- ・ 貝殻基質上にはマハタも確認され、礁内部にはイサキ、ウマツラハギ、カワハギなども見られた。
- ・ その他では、マダイ、スズキ、コショウダイなども確認できた。



▲ 調査打ち合わせの様子

幼魚から成魚まで多様な成長段階の魚類の生息場として機能を発揮していることが分かった。

◎調査結果



キジハタ



キジハタ



キジハタ



イシダイ



イシダイ、ウマツラハギ



カサゴ



マハタ



イサキ



報告会状況

2月1日付け

辞令交付



2月1日付けで14名の中堅職員に昇格・昇給辞令を交付した。また、1名の臨時職員を採用した。

- 【本店】 経済事業部販売課主任(販売課)瀬口正人、販売課(豊前海)係長(同主任)高村巧滋
- 【宇佐支店】 総務課係長(同主任)吉松あかね、販売担当主任(同担当)高橋善純
- 【国見支店】 販売担当主任(同担当)寺川貴史
- 【姫島支店】 信用担当係長(同主任)須賀保代
- 【武蔵支店】 購買・販売・指導担当主任(同担当)大島義明
- 【日出支店】 販売担当主任(同担当)増原信行
- 【佐賀関支店】 総務課係長(同主任)高瀬大輔、信用課係長(同主任)嶋崎隆生
- 【津久見支店】 業務課購買担当主任(同担当)中野珠季
- 【佐伯支店】 信用課主任(信用課)小畑貴恵
- 【米水津支店】 色宮営業店主任(色宮営業店)日下恵介
- 【蒲江・名護屋支店】 信用課臨時(新規採用)木原登季子
- 【水産物加工処理施設】 業務2課係長(同主任)後藤慶彦



募金のお願い

JFグループは、能登半島地震に対する支援募金を呼びかけています。組合員や役員の方の協力をお願いします。

JFおおいた おさかなチャンネル

昨年8月にスタートした「極旨！おおいたオシヤベリ食堂」も3月で約8回の回を迎え、惜しまれつつ最終回となった。

2月の「ヒオウギ貝と豊のしゃものチーフシヤワンムシ」、手軽ながらコクがありそうな一品。動画では日本酒「和香牡丹」と合わせていたけど、ワインとのマリージュも良さそう。それにしても「シヤワンムシ」って、フランス語の茶碗蒸し？最後まで疑問、。そして今月の最終回は「真鯛とおおいた和牛の白和え 豊後別府湾ちりめん添え」。なんかこんなに色々な食材が混ざると、少し心配しながら配信を楽しみにしたい。

オシヤベリ食堂で紹介された料理を実際に作られた方がいれば、是非感想をお寄せください(笑)。



JFおおいた おさかなチャンネルは 大分県漁協のYoutube公式チャンネルです。
<https://www.youtube.com/@JF-ui6dz>



サカナをたべれば幸福が見えてくる

ウオメシ

ブリかまの

アクアパツツア

自宅で楽しく番外編

「ブリかま」が好きだ。焼いても煮てもおいしい。たくさん頂く機会もあり、嬉しい限りだ。そんなブリかまにひと手間加え、見た目豪華なアクアパツツアにしてみた。

- ・フライパンにオリーブオイル(大さじ3)を熱し、にんにく(1片薄切)で香りを付ける。
- ・ブリかま(2枚)を皮を下にして入れ、焼き目が付いたら裏返す。
- ・水(100g)、コンソメ(大さじ1)、プチトマト(10個そのまま)、マッシュルーム(100gそのまま)、ブリカ(半分短冊切)、オリーブ(3粒薄切)、白ワイン(大さじ3)、塩、胡椒を入れ、蓋をして蒸し焼きに。
- ・アサリ(100g)を入れて口が開いたら火を止め、パセリを散らす。

冷やした白ワインとベストマッチ！

【編集後記】 2月17日の日経新聞に、「水産・青果最高値・昨年東京市場」なる記事が出たが、浜の状況は急激に悪化した。

特に、全国第2位の生産量を誇る本県の養ブリは深刻な状況だ。餌飼料の高騰などで生産原価が千円を超えようと言う時に、豊富な在池を背景に浜値は800円を割り込み、原価割れも甚だしい。出荷しなければ更に餌代が重くのしかかり、進むも地獄退くも地獄の有様だ。

県漁協としても、当然手をこまねいてはいられない。生産現場の状況と要望を取りまとめ、農水大臣などに陳情した。

諸物価が上がる時に、原価割れの取引が続けば、浜は衰退してしまう。一面にも紹介したとおり、県は学校給食で活用する予算を上げしてくれたい。正当な対価が生産現場にもたらされるよう期待したい。